

広報

とまこまい

TOMAKOMAI Public Information



目次

- クローズアップ …… 2
- 苫小牧再発見 …… 3
- 数字で読む053大作戦 …… 3
- 特集
- 苫小牧市総合計画についてお知らせします …… 4
- 市民のひろば …… 8
- 市政トピックス …… 10
- 3月、4月は異動のシーズンです
- 転入・転出届や各種証明書の申請をするときは
- 国民健康保険からのお知らせ
- 健康ガイド …… 14
- 市からのお知らせ・ほか …… 16



広報とまこまい 平成20年3月1日発行 第1660号

この街のかたち

No.10

学び舎

多い少ないは別として、人の数だけ学び舎があり心に残るものがあるはずである。それは何も、学校とかそついった狭いカテゴリーだけの話ではなく、その本質は様々な形態の様々な場所を過ごした何気ない日々の出来事が記憶の中にさりげなく残ってゆくものを包括的に示したものだと思ふ。

学び舎を持ち続けるということは非常に困難な作業である。時間が過つにつれ、その性質が変わつてしまつたり、それ自体が無くなつたりする場合が多いからだ。学び舎と呼べる存在の大半は過去形である。

私はこの街で20年以上、同じ学び舎に通っている。ここに始めて来たのは小学校1年生のときだったから、正確に言えば27年目に突入した。母親に手を引かれ、お稽古セット一式を持って教室までの階段を上つてい



空気がそのまま漂い続けている貴重な空間なのだ。

振り返ると、いつの間にか私も師匠も年齢を重ねている。しかしながら、過去を全く違和感無く感じるといふ事実は、「時

たのを今でも何故か覚えている。それ以来、私は同じ師匠のもとへ、同じ曜日と同じように通つていく。お世辞にも綺麗な建物とは言えないのだが、私にとって、そこは20年以上前の時間と

間は流れるものではない。積み重なつていくものである」といふことを証明している。このよな場所が現在進行形であるといふだけで、私にとってこの街は十分魅力的なのだ。

3月はこの街を離れ新たな道を歩み出す人が多い月だろう。生まれ育つた街で記憶に残る学び舎での思い出というものを大切にしたいと思ふ。そうすれば、この街はそつと吸い込まれるはずだ。「このまこまい、帰つておいで」と。

高山知哉さん(日吉町)の創作です

成

市役所・出張所などの連絡先

市役所	☎053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 ☎0144-32-6111(代表)
勇払出張所	☎059-1372 苫小牧市字勇払33番地 ☎0144-56-0003
のぞみ出張所	☎059-1272 苫小牧市のぞみ町1丁目2番5号 ☎0144-67-0464
市政に関するご意見、ご提案などは	
広報広聴課	☎0144-32-6152 ☎0144-32-1117 ✉ koho@city.tomakomai.hokkaido.jp

苫小牧市役所ホームページ

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp>
携帯電話対応の情報提供サイト
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/i/>

1月末の人口と世帯

総数	173,996人
(対前月比)	(-12人)
男性	85,065人
女性	88,931人
世帯数	79,782世帯

交通事故発生状況

1月1日~2月12日		
区分	件・人数	対前年同期比
発生	94件	-30件
死者	0人	-1人
傷者	110人	-39人

編集・発行/苫小牧市企画調整部広報広聴課
☎(32)6108(直通) ☎(32)1117